

うえだ オレンジベスト 見守り 情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和7年3月10日 R6-6号

任期満了にあたり 心より御礼申し上げます



少年補導委員の皆さんには、日頃の活動をはじめ青少年健全育成について、御尽力・御協力をいただきありがとうございました。

コロナ禍で世の中の様々なイベントが中止となり、本委員会の引継や活動も先行き不透明な時期から始まりました。社会生活が元に戻りつつある昨今ですが、委員としての活動で子どもたちの生活の変容を肌で感じられたと多くの方々からうかがっています。

この度、少年補導委員の皆さんは3月で任期満了となり、4月からは、新たに『こども安全安心見守り委員』の皆さんが2年間の任期でオレンジベスト見守り隊の活動をスタートします。現委員の多くの方は御退任となります。

地区懇談会 開催状況



はじめ、合同巡回活動や環境チェック活動、さらには研修会・夜間巡回・センター活動と、様々な形で幅広く活動をしていただきました。

また、夜間に事務局が訪問して開催した「地区懇談会」では、子どもたちの行動変化への新たな対応・地域の落ち着いた状況や委員会活動の意義等々これからの委員会活動の指針となるご意見を頂戴しました。

先般、各地区自治会連合会・担当自治会の皆様に御協力をいただき、令和7-8年度の委員を推薦していただきました。任期の開始にあたり、事務局が各地区を訪問して「地区別研修会」を開催し、委員会活動の目的や方法、声かけ等について、改善点を含め新委員の皆さんへと引き継ぐ予定です。

現委員の皆さんには御自愛をいただき、御退任後も青少年の健全育成のためにお力添えをいただければ幸いです。

ありがとうございました。

地区 (委員数)	参加者 補導委員 事務局		実施日	会 場
東 部 (6)	5	3	8月1日(木)	中央公民館
神 川 (7)	6	1	電話による聞き取りを実施	
南 部 (7)	4	3	10月10日(木)	市役所
中 央 (6)	6	3	8月4日(日)	一貫茶屋
塩 尻 (3)	3	3	10月15日(火)	西部公民館
北 部 (8)	5	3	9月25日(水)	中央公民館
西 部 (9)	7	3	9月18日(水)	西部公民館
城 下 (8)	6	2	8月8日(木)	城南公民館
神 科 (7)	5	3	12月10日(火)	上野が丘公民館
豊 殿 (5)	5	3	10月30日(水)	豊殿自治センター
東塩田 (4)	3	3	12月17日(火)	塩田公民館
中塩田 (4)	3			
西塩田 (3)	2	3	1月16日(木)	塩田公民館
別所温泉(4)	3			
川辺泉田(9)	5	3	11月12日(火)	川西防災センター
川 西 (3)	2	3	8月29日(木)	川西公民館
内 村 (3)	2	3	1月21日(火)	丸子公民館
丸子中央(6)	5			
依 田 (3)	2	3	1月28日(火)	丸子公民館
長 瀬 (3)	2			
塩 川 (3)	3			
長 (3)	1	4	2月13日(木)	真田中央公民館
傍 陽 (3)	1			
本 原 (3)	2			
武 石 (3)	3	4	2月18日(火)	武石公民館



地域見守り懇談会 報告

少年育成センターでは、地域の子どもは地域で守り育てる観点から、同じ地域の自治会関係と学校関係の少年補導委員が顔を合わせ、学校管理職の先生にも無理の無い範囲で御参加をいただき、学校・地域の状況や問題・課題を情報交換して健全育成の活動の充実を目指す **地域見守り懇談会** を開催しています。

会場や日程の調整、懇談会の進行を中学校の生徒指導主事の先生に御協力をいただき、すべての地域で開催することが出来ました。御協力・御参加をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。

懇談会で複数の地域で話題になったり、新たに取り上げられた意見の一部を紹介します。



【先生(学校)から】

- ・小中一貫で情報メディア教育(利活用方法)を実施している… 成果は検証中
- ・居場所がない生徒が増えつつある… 集団生活が苦手/教室に入れない/不登校/相談室登校 等 理由はさまざま
- ・いじめアンケート等で隠れた現状を把握 相談できる力・主体性を育む教育を実践中
- ・体育授業時のケガが多くなってきている 登下校の自動車送迎のため? 外で遊ばないせい? 家でスマホ・ゲームが多い?
- ・日中に痴漢の事案有り。声かけ・つきまといが上田駅前でも発生している
- ・下校時の見守りをお願いしたい

【保護司さんから】

- ・子ども達は知らないうちに犯罪に巻き込まれる危険性が有る
- ・SNS への十分な注意と毎日の家庭での親子の会話が大切



【駐在所(交番)から】

- ・防犯ブザーで子どもが助かった事案有り

【自治会関係委員から】

- ・子どもたちの地域行事への参加は大切
- ・地域行事での関わりから、事件や問題行動が予防できる
- ・現在も(気持ちの持ち方で)マスクが外せない生徒が多いように感じる
- ・保護者の自動車送迎が多く感じる… 是非、歩く登下校の楽しさを伝えたい
- ・保護司さんに出席いただいた懇談では、シビアな事案や少年のきびしい現状を聞けて刺激を受け勉強になった
- ・委員は自治会・学校とのパイプ役となって、通学路や子どもの安全を考え活動を推進する必要有り
- ・委員の活動で子ども達を見守っていると、大人のマナーの悪さが目に付く
- ・学校に足を運べる事、校長先生や担当の先生と話しができる機会はとても貴重で是非続けてほしい

令和6年度 地域見守り懇談会 開催状況

～ 地域から 学校から ～

地域 (中学校区)	自治会関係 少年補導委員	学校関係 少年補導委員	学校 管理職	参加対象校	参加者計	実施日時 会場
1 中区	11 保護司1	小 2 中 1 高 1	3 2 1	東小 神川小 第一中 上田東高	21	10/4金 第一中学校 14:30-16:30
2 中区	11 保護司1 育成センター次長	小 3 中 1 高 1	1 1	清明小 塩尻小 西小 第二中 上田西高	19	9/2月 第二中学校 15:30-16:30
3 中区	11	小 2 中 1 高 1	2 1	北小 西小 第三中 上田染谷丘高	18	11/29金 第三中学校 15:10-16:00
4 中区	5 保護司3	小 1 中 1 高 1	1 1	城下小 南小 第四中 上田千曲高	11	9/19木 第四中学校 15:30-17:00
5 中区	7 生活安全課長 主任児童委員2 育成センター次長	小 2 中 1	4 2	神科小 豊殿小 第五中	20	6/28金 豊殿小学校 16:30-18:30
塩田中区	9	小 3 中 1 高 1	2 2	東塩田小 中塩田小 塩田西小 塩田中 さくら国際高	16	10/24木 塩田中学校 16:00-17:10
6 中区	12 保護司	小 3 中 1	1	川辺小 浦里小 川西小 第六中	18	8/27火 第六中学校 16:00-17:00
丸子中区	3 社会教育指導員	小 1 中 1	1	丸子中央小 丸子中 丸子修学館高	7	10/17木 丸子中学校 17:30-18:30
丸子北中区	8 社会教育指導員	小 2 中 1	1	丸子北小 塩川小 丸子北中	13	11/6水 丸子北中学校 17:00-18:00
真田地域	4 社会教育指導員	小 4 中 1	4 1	長小 傍陽小 本原小 菅平小中 真田中	15	6/20木 真田中央公民館 18:00-19:00
武石地域	3 公民館3 駐在所長 保護司2 小中PTA会長2 健全育成連絡 協議会会長	小 1 中 1	1 1	武石小 依田窪南部中	16	7/19金 武石地域総合 センター 19:00-20:00
合 計	107	37	30	43校	174	11会場



全体研修会 2月27日(木) 上田文化会館

全体研修講演会

「青少年の現状と対応について」

上田警察署 生活安全課

生活安全少年係係長 吉澤雅之氏

上田警察署 生活安全少年係 係長

青少年の初発型非行(万引き、自転車盗、オートバイ盗、占有離脱物横領など)が増加傾向であること、学識別では高校生の非行が増加していることなどから、大人の役割について提言をいただきました。

- ・友人つながり(コミュニティ)の中、喫煙やパチンコ遊興が**お金**に係る初発型非行の入口になる傾向
- ・薬物や闇バイトは、ギャンブルによる**お金**への心理的欲求作用により陥りやすくなる
- ・社会・大人の、群れる青少年への「ひと声」「声かけ」がなによりも大切



会長 あいさつ

研修会に先立ち、少年補導委員会 宮下会長から、新たな名称(こども安全安心見守り委員)で、4月から委員活動が始まる事への期待と、今期の委員活動を慰労する退任のあいさつがありました。

～ 上田市の 輝くこどもたち ～

「家庭の日」の作文 優秀賞作品の紹介 (前号に引き続いて紹介します)



自分ではなく誰かのために

上田市立第四中学校 三年 藤升 結香

私は絵を描くのが好きだ。筆を動かせば命が宿る。小さな世界が生まれる。作品が完成した時の達成感言葉では表せない。私がまだ幼かった頃よく祖父の家に遊びに行っていた。私は祖父から絵の具を借り、絵を描いていた。その影響か私はいつの間にか絵を描くのが好きになっていた。

祖父は趣味で主に油絵を描いていて、数年前は個展も開いていた。私は独特なタッチで描かれている絵も、絵を描くのが好きな祖父も大好きだった。

私は今、美術部に入っている。けれど中学三年になり、部長になったのにも関わらず、私は描きたいものを見失ってしまった。後輩達が私以上の画力を持ち、賞を取り、結果を出していることに気付いたからだ。筆を持つ気力もなくなり、スランプに陥ってしまった。

そんな時、部活内で美術展に出展する期日が迫っていた。さすがに出展しないわけにもいかず、気が乗らない中なんとか制作した。そして納得のできない状態で出展した。こんなものでいいのか、と私は何度も自分に聞いた。

美術展が開かれ、私は母と向かった。祖父は足が弱く来れなかった。母は私の絵の写真を撮り、後日祖父に見せることになった。母は私の絵をほめてくれたが、私はその言葉に喜べなかった。

そして数日後、私は撮ってもらった絵を祖父に見せた。アドバイスをくれたが、私は上の空の返事をし、聞き流してしまった。すると祖父は絵を描いている部屋に私を呼んだ。

「結香に最後の絵を見せようと思って。」
祖父は何気ない顔で言った。「最後」という言葉に戸惑う私を横に、祖父は一枚の絵を見せてくれた。

それは優しい雰囲気をもとう人の横顔だった。点描で描かれ、色の移り変わりがとても綺麗だった。そして祖父は

「俺が死んだら、この絵に取りついて、結香のことを見守ってるよ。」
と冗談混じりで、けれどどこか寂しく言った。

その瞬間、ドクンと胸が鳴った。祖父は自分がいなくなっても誰かを安心させるために「最後の絵」を描いたと私は気付いたからだ。自分のためではなく、誰かのために描く。祖父の絵に対する「本気」が伝わった。そして私の中に「絵が描きたい」という気持ちが生まれた。

私も祖父も絵を描くのが好きだ。けれど私達の方向性には大きな違いがあることに気付いた。私は「自分のために」、祖父は「誰かのために」
絵を描いているのだ。祖父の絵は誰かの心を支える力を持っている。

なんて素晴らしいことだろう。私も祖父のように誰かの心を支えられるようになりたい。

その第一歩として、新しい夢を抱かせてくれた祖父に「ありがとう」の気持ちを込めた絵を描き、渡したい。祖父の心を支えるために、「本気」で絵と向き合っていきたい。



令和7年度

委員会活動予定

上田市こども安全安心見守り委員会

『オレンジベスト見守り隊』(愛称)への御理解と御協力をよろしくお願いします。

- 4月～5月 地区別研修会 <各地区 分散開催で活動の説明と役員決め>
- 5月21日(水) 理事会・総会・全体研修会(中央公民館・文化会館)
- 6月12日(木) 地区会長・班長会(中央公民館)
- 6月～ 『街頭活動』(各班)開始
- 6月から11月にかけて 『地域見守り懇談会』(中学校区ごとに開催)
- 7月から11月にかけて 『環境チェック活動』(街頭活動として期間内に実施)
- 8月から12月にかけて 『合同巡回活動』(街頭活動として期間内に実施)

○ 少年育成センター主催の活動 <指定班が協力して活動します>

- 「センター活動」年6回 「街頭啓発活動」7月11月
- 「夜間啓発活動」年2回 「全体研修会」年3回
- 「駅前パトロール」防犯協会主催 年2回参加

オレンジベスト見守り情報：奇数月10日発行



上田市ホームページ



☎ 青少年電話相談(ハローダイヤル 相談専用電話)
(0268) 22-8080 <月～金曜日 9:00～16:00>

編集後記



今年度の オレンジベスト見守り情報 は、「子どもたちの居る場所」をテーマに、少年補導委員・少年育成センターの活動を誌面でお伝えすることを目指して発行してきました。

20世紀後半の経済成長期に『かぎっ子』という言葉が生まれたことをご存じでしょうか。核家族化と親世代の共働きにより、自宅の鍵(かぎ)を子どもが持ち、下校していた時代です。

今期は、委員会活動・センター活動で、事務局も児童センターや児童クラブを訪問する機会を得ました。小学校から下校した子どもたちが、学年を越えた友達や仲間と元気に笑顔で活動する様子に加え、保護者の方々がお迎えに来て手を携えて帰宅する姿がとても微笑ましく温かさを感じました。子どもたちの居場所の充実には、まだまだ課題があるとの声を耳にするものの、社会のしくみの変化から『かぎっ子』という言葉は死語に近づいたのかな…と感じました。

また、学校の先生から、児童生徒の下校時の危険事例情報をいただき、下校時間の巡回も企画しました。センター活動では、夕刻の「夜の繁華街」に足を運びました。耳にはワイヤレスイヤホン、手にはスマホ…凝視するスマホの明かりが顔を照らす時間帯、夕暮れのまだ静かな夜の街の小路をひとりで歩く高校生の姿がありました。繁華街だけでなく、常に人が集まる上田駅前でも不審な声かけやつきまといが発生しています。オレンジベストを身につけて巡回することで、子どもたちを見守り、市民の目として社会を照らしたいと感じました。

新年度からは、新たに委嘱される「こども安全安心見守り委員」の皆さんと共に、社会全体で、現代生活の新たなつながりを大切にしながら、未来を託す子どもたちの成長を見守り、声かけをしていきたいと思います。